

現下の中国をどう見るか

●三つの問い

「中国で今何が起きているのか？」

「中国は一体何処に向かおうとしているのか？」

「習近平とはどのようなリーダーか？」（「皇帝」か「改革者」か、異なる二つの見方）

●アメリカから見た中国

▶ 近視眼的・実践的

▶ 「証拠 (evidence) は何か？」

▶ シンクタンクの間を吹く「風」

▶ 中国の「政治戦争 (political warfare)」

▶ 四つの目 (四重人格)：宣教師・軍人・商人・リバタリアン

●対中戦略

▶ 日米共通利益・共通ポジション

▶ 「悪夢の三角関係」

●習近平政権の直面する根源的問題：政権のレジティマシー

共産主義／ナショナリズム (愛国主義)／生活の質の向上 (パフォーマンス)

習近平政権の成立：①経済のスローダウン⇒経済体制改革

「中国の夢 (China Dream)」≠ Chinese Dream

市場改革 (より競争力のある、比較的公正な) ⇒既得権益・利権集団・特権の排除⇒政治体制改革

●6/4天安門事件 (1989) 前夜～「異化論」(母と子、神と人、自然と人類、労働と資本、革命と党)、異化を克服するものとしての「人道主義」⇒反精神汚染キャンペーン

胡耀邦の死⇒6/4天安門事件×政治体制改革 (「車の両輪」(鄧小平))

経済体制改革のみ (江沢民→胡錦濤→習近平)

●習近平=李克強=王岐山 (「習胡同盟」) による権力闘争

反腐败：目標は「右」

習：聯「左」、借毛権威、装出「左」王、ポピュリスト (薄熙来の手法)

に学ぶ)

李：経済運転手

王：政敵叩き

- 三中全会（市場改革）、四中全会（法の支配）⇒言論統制、社会的締め付けの強化（民主派知識人の逮捕）等⇒資本逃避⇒「核心」⇒第19回党大会（2017）

- 「国民国家」形成プロセスは未完（特権階級の存在）

中産階級の成長→法の下での平等・私有財産の保護を要求⇒共産党の変容？

将来の中国は中産階級の国

【用語集】

(人名)

毛沢東／周恩来／鄧小平／陳雲／胡耀邦／趙紫陽／鄧力群／姚依林／李鵬／江沢民／朱鎔基／胡錦濤／温家宝／習近平／李克強／王岐山／汪洋／李源潮／胡春華／薄熙来／王立軍／劉雲山／周永康／王毅／楊潔篪／載秉国／周揚／王若水／胡績偉

(事柄)

六四天安門事件／清除精神汚染キャンペーン／異化論／母と子／宗教と神（フォイエエルバッハ）／自然と人間（ヘーゲル）／労働と資本（マルクス）／ブルジョア人道主義とプロレタリア人道主義／政治体制改革／経済体制改革／パフォーマンス・レジティマシー／第18回党大会（2012）／第19回党大会（2017）／七上八下／集団指導制／「穩定压倒一切」（安定団結）／スムーズな権力移行／特権／既得利益集団／権貴資本主義／国家資本主義／TPP／韜光養晦（有所作為）／南シナ海／東シナ海／尖閣諸島／群島理論／先占理論／九段線／ADIZ／A2AD／第一列島線／第二列島線／サニーランズ／新型大国関係